

# 領域及び保育内容の指導法に関する科目

## ■ 幼稚園教諭1種・2種免許状

左記修得単位欄に追記

### 教育学部 教育学科

免許法施行規則に定める科目区分等			本学で開設する科目		修得単位		備考	小1 幼1
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位	科目	単位	幼1	幼2		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	国語	2	6 ※①	2 ※②	※①	10 <del>6</del>	
		算数	2					
		生活	2					
		音楽	2					
		図画工作	2					
		体育	2					
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	1種16 2種12	○保育内容総論	2	14 ※④	10 ※③		10
		○幼児指導論	2					
		○保育内容指導法(健康)	2					
		○保育内容指導法(人間関係)	2					
		○保育内容指導法(環境)	2					
		○保育内容指導法(言葉)	2					
		○保育内容指導法(表現)	2					
		1種16 2種12	免許状取得に必要な単位数	20 ※⑤	12	20 <del>16</del> ※⑤		

○印は必修科目

「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の余剰単位は、「大学が独自に設定する科目」として充てることができます。

- ※① 「領域に関する専門的事項」(上記表の免許法施行規則に定める科目)は、選択科目より6単位以上を選択必修科目として修得すること。
- ※② 2種免許取得の場合は、「音楽」「図工」「体育(幼・小)」よりいずれか2単位以上を選択必修科目として修得すること。
- ※③ 2種免許取得の場合は、「保育内容総論」および「保育内容の指導法」5領域のうち4領域8単位以上を選択必修科目として修得すること。
- ※④ 幼稚園教諭1種・小学校教諭1種を同時に取得する者で、小学校教諭1種をピーク(小学校で教育実習)とする者は、~~「保育内容の指導法」の単位のうち半数までは、小学校教諭免許状に必要な「各教科の指導法」または「特別活動の指導法」の単位をもって幼稚園教諭1種に充てることができます。下記解説の理由により~~  
したがって、「保育内容総論」および保育内容指導法5領域のうち4領域履修し、計10単位履修すればよいことになります(ただし、「社会科指導法」「理科指導法」「家庭科指導法」の各単位は「保育内容に関する科目」に充てることはできません)。幼稚園教諭1種をピーク(幼稚園で教育実習)とする者は、「保育内容の指導法」を14単位すべて履修する必要があります。
- ※⑤ 幼稚園教諭1種・小学校教諭1種を同時に取得する者で、小学校教諭1種をピーク(小学校で教育実習)とする者は、~~14単位~~になります。

なお、「領域に関する専門的事項」で修得する6単位を含み次ページに記載している小学校の「教科に関する専門的事項」より4単位以上履修し小学校の「教科に関する専門的事項」で合計10単位の履修が必要となるので注意すること。

↑  
16単位  
20

**【解説】**  
 小学校教諭1種をピーク(小学校で教育実習)とする者は、「保育内容の指導法」の単位のうち半数までは、小学校教諭免許状に必要な「各教科の指導法」または「特別活動の指導法」の単位をもって幼稚園教諭1種に充てることができます(教育職員免許法施行規則第二条備考十三による)。具体的には、文部科学省の「質問回答集(平成30年1月9日版)」614において、「施行規則第二条第1項表の第二欄「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の単位数から、「領域に関する専門的事項」について修得した単位数を差し引いた単位数の半数となる」という解釈が示されている。